



**【今後の業務改善に向けた考え方】**

≪指定管理者が実施・検討する事項≫

- ・ 温泉入浴者数の増加を目的とした広報活動等の取組強化
- ・ 温泉利用者の健康状態や、温泉施設の安全・衛生管理の徹底
- ・ 施設利用者の安全確保及び利用方法の説明指導の徹底
- ・ 地域資源を活用した輝北地区の活性化や交流を促進する取組の実施

≪施設所管課が実施・検討する事項≫

- ・ 施設を拠点とした交通・買物弱者への支援策の検討
- ・ 施設の老朽化箇所の計画的改修
- ・ 地域間・世代間交流及び地域活性化の促進
- ・ 指定管理者と連携した安全管理体制の強化
- ・ 地域福祉施設の先進地事例の情報収集及び施設運営への還元

**(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）**

① 合目的性・公平性・効果性

温泉公衆浴場、各種施設の維持・管理及び使用許可等は業務仕様書に基づき適正・公平に行われた。また、社協だより・ふれあいセンターだより等の発行により、事業の広報・利用推進も図られた。

**(2)業務内容**

① 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

妙見温泉の湯を使った温泉事業、交通弱者等に対する交通手段の支援を展開し、地域住民の交流・健康づくりに貢献した。また、当施設を拠点とした「やすらぎの里づくり支援事業」を実施し、やすらぎサロン事業をはじめ、各種講座、高齢者等を対象とした買物支援事業等を積極的に行った。

② 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

指定管理者である鹿屋市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする公共団体であり、協議会の定義に経営管理を明記し、責任ある体制のもと事業を行っている。また、苦情等もなく、機械・器具の故障等については、要綱に基づき適正に処理され、迅速に市へも報告されている。

② 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

業務仕様書に基づき、指定管理者が実施すべき事務が適正に行われていることを確認した。

③ 安全性（安全管理・緊急時等の対応）

施設・設備に関して、定期的な保守点検がなされており、輝北ふれあいセンター全般の機能が良好に維持管理、運用されている。入浴施設については、常に想定される課題を念頭に置き、適切な安全管理が図られている。また、緊急時の連絡網も適正に整備されている。

④ 社会性（環境等への配慮）

敷地内の芝の手入れを定期的を実施するとともに、鹿屋市シルバー人材センター会員による清掃作業も行われている。また、ごみの減量や節電など環境に配慮した管理運営を図り、経費節減や効率的運営に努めている。

(3)事業収支

① 経済性

温泉施設利用者増による収入増を目指すとともに、節電などによる光熱水費の削減、温泉設備等の修繕による燃料費削減を実現している。

(4)団体の経営状態

① 経営の健全性

鹿屋市社会福祉協議会は、在宅福祉サービス事業に積極的に取り組んでおり、安定した経営がなされている。また、運営や事業受託などにおいて行政との関連も深く、関係部署の指導を受けていることから、利益を追求しない公共的な団体として、指定管理業務を含めて健全な経営が行われていると判断される。

## 施 設 概 要 調 書

## 1 施設の概要

施設名	鹿屋市輝北ふれあいセンター	所管課：輝北総合支所住民サービス課	
所在地	鹿屋市輝北町上百引2100番地1	設置年月日：平成28年4月1日	
設置目的	社会福祉の増進を図り、地域間の交流及び地域の活性化に資するため、鹿屋市輝北ふれあいセンターを設置したもの		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市輝北ふれあいセンター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	13,110.71㎡
		延床面積	1,584.08㎡
	《有料》条例に基づき、使用料を徴収		
事業概要	(1) 生活相談 (2) 在宅介護支援 (3) 高齢者の食の自立支援 (4) 高齢者、障がい者、児童、母子及び父子家庭の支援 (5) 地域活性化に資する事業 (6) 生涯学習 (7) 地域コミュニティ		

## 2 経営分析評価指標

①事業収支	△618千円	④外部委託費比率	42.1%
②利用料金比率	14.7%	⑤利用者あたり管理運営コスト	1,568円/一人
③人件費比率	32.9%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	1,297円/一人

※ 少数点第2位四捨五入

## 3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	365日	365日
開館時間	<b>【センター】</b> 午前9時～午後5時 <b>【温泉】</b> 4月～9月：午前9時～午後8時 10月～3月：午前9時～午後7時	<b>【センター】</b> 午前9時～午後5時 <b>【温泉】</b> 4月～9月：午前9時～午後8時 10月～3月：午前9時～午後7時

## 4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
施設利用 人数	和室1	2,242人
	和室2	161人
	会議室	488人
	多目的広場	1,243人
	生活相談室	18人
	機能訓練室	298人
	その他	321人
	温泉入浴者	14,253人
	計	26,000人

## 5 事業収支

(単位:千円)

項目	実施計画(事業計画書より)	実施内容(実績)
入浴料収入	6,191	4,292
施設利用収入	7	14
指定管理料	24,670	24,670
その他収入	218	239
収入計(A)	31,086	29,215
人件費	13,160	9,822
光熱水費	3,628	3,805
修繕費	300	300
管理費	2,970	2,932
委託費	10,996	12,552
事業費	32	77
租税公課	0	321
その他	0	24
支出計(B)	31,086	29,833
収支(A)-(B)	0	△618

指定管理者自己評価表

令和 8 年 6 月 15 日

指定管理者 鹿屋市社会福祉協議会

施設名 輝北ふれあいセンター

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	③・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	③・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・②・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・②・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・①
	15 事業収支は妥当であるか	3・②・1
総合評価 (所感)	<p>・ 人員体制・安全対策・施設管理等については大きな問題等もなく適正な指定管理業務ができています。</p> <p>・ 施設利用者数は微減の傾向にある。</p> <p>・ 輝北地区唯一の温泉施設を備えており、多くの市民に利用していただけるよう、市と連携を図りながら、チラシ作成等の広報活動を行うとともに、センターの活性化に向けた検討委員会を設置し、さらなる利用促進とセンターの活性化に努めたい。</p>	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通じた指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。